



発行日 令和7年9月1日(月)

発行所 八王子囲碁連盟

住 所 八王子市美山町 1287-9

電 話 042-651-9764

発行者 藤森 力



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟

検索

第9回 級位認定大会

巻頭言

八王子囲碁連盟の目的

八基連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

囲碁の旅

大和田囲碁同好会 村田義彦

定年退職し、ほけ防止にもなり、楽しいと思い、囲碁を始めた。近隣の人との交流にもなると考えて、八基連の大和田囲碁同好会に、参加させてもらった。しかし、現代の囲碁は AI による囲碁の革命が起きているようで、激動の時代である。高段者で無い者に取って、AI 革命はそれほど影響がないのであるが、トップ棋士に取っては、人生の全てを注ぎ込んでいるので、死活問題のように思われる。友人は「コンピューターAI が強くなっているので、囲碁はつまらなくなって、廃れてしまうだろう。このような時代に囲碁を始めるのはどうなのか」と尋ねる。

2017 年に人類最高の棋士と言われた中国の柯潔九段が囲碁 AI であるアルファゴに挑戦して、3 連敗で負けてしまった。話題の対戦であった。それで、人類はもうコンピューターAI に勝てないと考えられている。今まで、神の一手がきっとあると神秘的に考

え、プロの打つ手はきっと神がかっているのだろう、と恐れと魅力を抱いていた。それが、単なるボードゲームの一つで、高度な鍛錬を積んだ人類よりもAIが強くて、神様はいないようになってしまったのか。答えは、AIのみが知っている。

それでも、意外と囲碁は楽しくて囲碁同好会に通っている。自分の思考を盤上で表現すると、対局相手も答えてくれる。相手も人間であるから好手も失着もある。そこのやりとりに、手に汗握って緊張する。しかしながら、生きることや囲碁をする意味はどこにあるのか、と問われて、日々答えられないでいる毎日であった。

答えは家庭菜園をやっているときに、一つ見つかった。それは何かを育てると楽しいのだ。子供が育つのは楽しい。少年時代には、目を輝かせて新しい課題に取り組んで行った。若かりし頃であった。それらの共通点は、育てることや何かが向上して行くことは、楽しいとのことのように思う。囲碁も自分の棋力が伸びると楽しい。人間は何か創造したり、育てたり、向上したりすることが楽しいと感じる心を持っている。それで、囲碁をやって、棋力向上が楽しい、と思うようになるのではないか。

しかし、老化なのか棋力向上が見込めなくなって来た。負けたときに、対戦相手がうれしそうな顔をすると、相手の棋力が向上して、良かったなと思う。そこに囲碁をする意味が、少しでも見出せるようになって来た。しかし、これではいけないと思う心も、少しは残っている。囲碁の旅はまだ終わらない。



★今後の子どもの囲碁教室について

南さんから子ども囲碁案内人連絡会議の招集。

「毎年開催の子ども囲碁大会の参加者が少なくなってきた」との問題意識から懇談会を開催したとのあいさつ。

各案内人から子ども囲碁教室の活動状況の報告を受け、改善策について議論し、以下の結論が得られた。

- 1、だいぶ減少してきたこ指導者体制の強化
- 2、子ども囲碁大会の開催時期の見直し（6月から10月へ変更）
- 3、子ども囲碁教室などに通う参加者名簿の作成、普段から囲碁大会の参加を目標にした取り組みや参加賞の準備

お知らせ

★令和7年度八碁連三段以上・囲碁大会実施要領

日時	令和7年10月5日(日) 9:00~17:00
会場	東浅川保健福祉センター4階 第5・6・7集会室(競技) 第2・3集会室(昼食)
参加者	三段以上
参加費	千円
参加申込	各地区囲碁同好会長から競技担当の三島理事宛(メールにて)
競技方法	3組編成(A組:六段以上)(B組:五~四段)(C組:四段~三段) 八碁連方式にて実施、各組成績優秀者が準決勝、決勝へ 持ち時間は各自35分(全員時計を使用)

★第9回級位認定大会(8月17日)の結果

東浅川保健福祉センターにて32名の参加(八碁連:23名、一般:9名)。

Aクラス(1級~3級) 16名 4回戦

Bクラス(4級以下) 16名 4回戦

9:40 藤森大会委員長のあいさつで開始

Aクラスでは浅川の宮野さんが4連勝、恩方の服部さん、一般の田中さん元八の佐藤さん、長房の原さんが3勝1敗で、5人の方が昇級し、初段の認定がなされました。

Bクラスでは、恩方の小山さんが4連勝、一般の佐藤さん、元八の尾池さん、宮城さん、一般の遠山さんが3勝1敗で昇級されました。

おめでとうございます。

15:45 表彰式を終え、無事閉会

参加の皆様には、最後まで片付けなどお手伝いいただき、ありがとうございました。



【編集後記】

八月下旬、編集後記に取り掛かっておりますが、未だ猛暑が続いております。これまでシルバーパスを多用しておりましたが、頻度が減りマイカーを利用することが度々です。近くの石川市民センターにも。

今月末においては、石川市民センター夏祭り囲碁大会があり、その準備で大忙しです。また、9月21日開催予定の同好会対抗団体囲碁大会のメンバー（Aチーム、Bチーム）が決まり、互いに切磋琢磨しております。他の地区囲碁同好会におかれましても、独自の取り組みをされているのではないかと思います。どしどし情報をお寄せください。

余白がありますので、倉内先生の囲碁講座で教えていただいた囲碁用語について、初歩的な一部を紹介します。日本棋院の「囲碁入門ガイド」には、「アタリ」「アゲハマ」「碁笥」「着手禁止点」「ダメ」「地」「目」「ニギリ」の解説がありました。ご確認ください。

級位認定大会で目にした光景です。Bクラスですが、他に手があるのに、互いに「ダメ」を詰めていました。また、同級の方の開始前の「ニギリ」について質問があり、これを紹介します。「ニギリ」は、{黒は1個か2個にぎります。白は数個にぎります。黒が白の偶数か奇数か当てれば、黒を持つ。外れれば白を持つ。白、黒の順番の決め方を「ニギリ」と言います。}